手稲区ってどんなところ？

地理

手稲区は、市の北西部に位置し、西・北・南区、小樽市および石狩市と接しています。面積は56.77㎢で東西に10.9km、南北に9.4kmの広がりを持っており、札幌市の10の行政区の中では6番目の広さを有しています。

手稲区は、市内でも概めて自然に恵まれた地域であり、南西部に位置する手稲山（標高1,023.1m）を源として市街地を流れる経川、三樽別川、中の川、星置川などの河川には、魚や昆虫、水鳥が数多く生息しています。

手稲区のシンボルである手稲山は、登山やハイキングのほか冬はスキーやスノーボードなど、四季を通じて絶好のスポーツ・レクリエーションの場として市民から親しまれています。北星概ハート（自然歩道）やお頭からは眼下に広がる札幌の街並みや日本海、さらには遠く増毛連山などの素晴らしい眺望を楽しむことができます。平成26年6月には、その標高にちなんで10月23日を「手稲山の日」と定められました。

あゆみ

手稲は、明治の初期に北海道の交通の要所として開けたまちです。当時、主に小樽港を基点に物資の補給が行われていたので、経川（現在の手稲本町）やサンタロペツ（現在の富丘）が、小樽港から札幌への陸上輸送の中継点となり、集落が形成されていました。

明治中ごろになると手稲山口に山口県から、星置には広島県からそれぞれ移住者があり、農林地の開墾を始めました。また、主に泥炭地であった前田や新発寒は、酪農を主とした農場になっていました。

同じころ、手稲山で金鉱脈が発見され、明治10年代にそろには産金量が最盛期を迎えましたが、戦後次第に衰退し、昭和46年に閉山しました。

昭和42年、手稲前は札幌市と合併、以後、新興住宅地が次々とでき、昭和47年に札幌市の政令指定都市移行に伴い（旧）西区となりました。平成元年11月6日、人口の著しい増加に伴ってそれまでの西区から分区し、手稲区が誕生しました。当時は約105,000人だった人口が、令和7年1月1日現在では、140,503人（62,664世帯）となっています。

手稲鉄北地区

曙地域・前田地域（一部）・明日風地域で形成されています。区住区と工業地域が地区のほとんどを占め、温水プール、図書館、体育館などの公共施設のほか、金属加工や機械製作など多数の工場が稼働しています。明日風地域は、平成19年の土地区画整理事業によって誕生した活気あふれる新興住宅地です。

あけぼの夏まつり

てつほくあそびひねっと

星置地区

星置地域と山口地域で形成されています。星置地域は、小樽と札幌を結ぶ交通の要所で、昭和60年に国鉄星置駅、平成7年にJR ほしみ駅が開設され、一気に開発が進みました。山口地域では、地勢を生かし、札幌の特産物として知られる甘みの強いスイカやカボチャなどが栽培しています。地域の歴史を物語る山口通河は、地域のシンボルとなっています。

星まつり

雪の花あかり

稲穂金山地区

稲穂地域と金山地域で形成されています。稲穂地域は、稲の穂がたわわに実ることを夢見て開墾に努めた先祖の苦労をしのび「稲穂」と名付けられました。金山地域は、手稲鉱山の繁栄とともに築かれたまちで、昭和17年に「金山」と名付けられました。両地域とも手稲山の山裾に位置し、現在は自然環境に恵まれた住宅地が広がっています。

金山地域まぢなの会

稲穂連合町内会納涼盆踊り大会

手稲地区

手稲本町ともお呼ばれます。明治13年に小樽の手宮と札幌を結ぶ鉄道が開通し、明治14年には経川駅（現在のJR手稲駅）ができるなど、古くから交通の要所として栄え、昭和17年まで経川と呼ばれていました。平成14年5月には、JR手稲駅の新駅舎と、南北の駅前広場を結ぶ回遊通路「あいくる」が完成するとともに、駅南側の再開発事業が行われ、駅周辺は一層にぎやかになりました。

ふるさと経川ビルうえまつり

JR手稲駅自由通路あいくる

富丘西宮の沢地区

中の川を境に富丘地域と西宮の沢地域で形成されています。富丘地域は、札幌と小樽を往来する役人や旅人たちの休憩所・宿泊所として栄え、西宮の沢を含む西宮の沢地域は、札幌市と手稲町との合併を機に開発が進み、平成元年の分区にともない西区側は「宮の沢」、手稲区側は「西宮の沢」となりました。現在は両地域の北側に床面都本線、中央に2本の幹線が走り、交通の利便性の良さと豊かな自然環境を併せ持つ住宅地となっています。

中の川桜づつみを歩こう会

不法投棄撲滅啓発パレード

新発寒地区

西区からの分区前は「発寒」という地名でした。

地区内には２つの川が流れており、中の川では四季折々の表情を見せる手稲山を仰ぎながら桜づつみを楽しむことができ、旧中の川では幅の親子が遊れ、とんぼと（ニホンイトヨなど）が生息する姿を見られるなど、自然豊かな住宅地として発展しています。

雪に親しむつどい

新発寒地区綱引き大会

手稲区シンボルマーク

三角形は、やさしく区民を見つめる手稲の山々と、未来に向かって限りなく発展を続ける手稲区を象徴します。曲線は、手稲の歴史を刻む「経川」と、人情味あふれる区民相互の協調と連帯のひろがりを表します。色彩は木々の緑、さわやかな水辺、澄みきった青空を表現し、これらの豊かな自然を大切にする区民の心意気を表します。

（平成2年3月制定）

前田地区

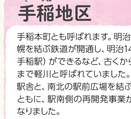
旧加賀藩主の前田家が「前田農場」を創立したのが始まりで、昭和17年に地域名称として前田と定められました。石狩手稲線沿いの前田中央商店街や下手稲通の大型店の進出など手稲区の中心地として賑わいを見せながらも、区内最大の広さを誇る前田森林公園や市内最大級の屋外プールを備えた手稲稲積公園など、公園・緑地も多く、春には経川や旧経川沿いの美しい桜並木が、地域の人々を楽しませています。

前田まちのお宝活用事業

前田よれあいまつり

前田森林公園

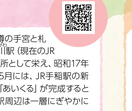
サクラ、フジ、紅葉などが一年を通して樹木を楽しむことができます。展望ラウンジから手稲山に向かって約600mのカナール（運河）が延び、両側の200本程のポプラが空を印で景色は異国情緒を感じさせます。バーベキューコーナーもあります。



MAP C-1　JR函館本線「星置」駅 徒歩10分　JR手稲駅北口発 [星置3条] [前田中央通西下車、徒歩10分]

乙女の滝

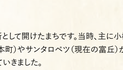
星置川の支流である滝の沢川にあり、その名のとおり岩肌を伝って流れ落ちるその姿は、女性のなたおやかさを思わせます。落差は約8mで2段に分かれて静かに流れ落ちます。



JR函館本線「星置」駅 徒歩20分　JR手稲駅南口発 [星置3条] [前田中央通西下車、徒歩10分]

手稲稲積公園

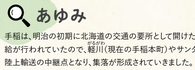
市内最大の面積の運動公園です。テニスコート、野球場、パークゴルフ場、プールなどのスポーツ施設があります。公園内の「ていねプール」（夏季のみ営業）には、流れるプールやウォータースライダーなど多種のプールがあり、子どもから大人まで幅広く楽しめます。



MAP E-3　JR「稲積公園」駅下車、徒歩2分　JR「手稲駅」または「星置駅」バス2分「稲積公園」下車

山口緑地

2つのパークゴルフ場と、滑り台やロープジャングルなどの子どもの遊び場があり、手稲山や石狩湾を一望しながら楽しむことができます。市民と共同で植樹を行った小さな森のエリアや、明治時代に大量発生したバッタに由来する「バッタ塚」という記念碑もあります。

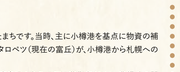


MAP A-2, A-3

サッポロテイネスキー場

1972 年札幌オリンピックの会場となった手稲山には、２つのゾーンに多彩なコースを備えたスキー場があり、初心者から上級者まで、スキー・スノーボードを楽しめます。

コースの山頂付近からは、札幌市街や石狩湾、日本海を見渡すことができます。



JR函館本線「手稲」駅より2号 [無料] アイスオリンピア前、ティネハイランド下車（冬期間のみ運行）

明日風公園

夏は水遊び、冬は小高い丘でそり滑りなど、季節に合った遊びができます。園内の遊具は幼児用と児童用に分かれているのでやさしく子どもも安心して遊べます。無料のパークゴルフ場もあるので、大人も楽しむことができます。

MAP B-3　JR「手稲」駅より2号 [手稲駅北口発 [手稲] 行] [手稲駅前通下車、徒歩2分]

星置公園・星置スケート場

公園内には約30種類の健康遊具 器具やジョギングコースがあり、健康づくりに気軽に取り組めます。公園隣のスケート場（※）は、1年を通して営業しており、夏でもスケートを楽しめます。

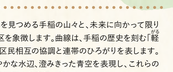
※中学生以下無料。詳しくは星置スケート場に問い合わせ

JR「星置」駅下車、徒歩13分　JR「手稲駅」または「星置駅発 [工事中] - [工事中] - [工事中] - [工事中] 星置スケート場下車、徒歩2分

MAP B-3

手稲山 自然歩道

令和5年8月時▶



区内から手稲山に登れる自然歩道「手稲山北尾根ルート」は、石狩平野と日本海の眺望を楽しみながら、手稲山の雄大な自然とその恩恵を感じ取ることができます。

※手稲山北尾根ルートは山頂までは行けません。

MAP 手稲山北尾根ルート

手稲記念館

手稲町と札幌市の合併を記念して昭和44年に旧手稲本町エリアである札幌市手稲東（現在の西区西町）に開館しました。ここには手稲の開拓当時の様子や、郷土史解説コーナー、手稲遺跡からの出土品や古文書、生活用具などの歴史的資料が多数展示されています。

MAP 右図　地下鉄東西線宮の沢駅下車、徒歩10分

◀札幌市と合併する前の手稲町は、左の地図のとおり現在の西区宮の沢や西野、平和などを含む広大なエリアでした。

なお、西区には、手稲記念館以外にも、「上手稲神社（手稲東小学校）」という旧手稲町の名残が今もあります。

※各施設の営業状況については、事前に二次元コードからご確認ください。

手稲区魅力スポットに訪れる際や日常の移動の際はこちらを活用ください

えきバスnavi

札幌周辺JR共通案内

Webサイト パソコン、スマートフォンなど　えきバスナビ

パソコンやスマートフォンなどから、札幌市内のJR公共交通機関（バス、地下鉄、市電、JR）の時刻表、運賃、乗継経路、バスの現在位置などが検索できる便利なサービスです。

えきバスデル

えきバスNaviの検索結果を案内いたします。

札幌市コールセンター
☎011-222-4894
✉ info4894@city.sapporo.jp

チョイソコ

●チョイソコでいねとは？
令和4年11月をもってバス路線が廃止となった富丘高台線の周辺地域で、予約に応じて乗降場所間を運行する乗合送迎サービスです。
ご利用には事前の会員登録と乗車申込が必要です。

チョイソココールセンター ☎050-2018-5755

ていねっていいね！
手稲区の魅力スポットを紹介

区のシンボル 手稲山

令和3年10月号

豊かな自然を有し、スポーツやレクリエーションの場として市民から親しまれていますが、昭和初期には多くの金を産出し、手稲の発展の礎を築いた歴史があります。1,023mの山頂に設置されたテレビなどの電波塔からは、道央一円に電波を送るなど、私たちの生活にもてくてはならない存在となっています。

貴重な 自生植物たち

令和4年4月号▶

スズラン

ミズバショウ

カタクリ

富丘西公園　MAP E-4
星置緑地　MAP B-4
稲穂ひだまり公園　MAP D-4

富丘西公園には市内最大規模のスズランの群生地、星置緑地には市内最大規模のミズバショウの自生地があります。稲穂ひだまり公園では市内でも珍しいカタクリの群生を見ることができます。

区内各所で咲き誇る 桜

ていねさくらマップ▶

軽川緑地
たくさんのサクラが植えられています。
MAP D-3, E-2, E-3

中の川緑地
約4kmの桜並木が続いています。
MAP F-4

旧軽川緑地
住宅街にありながら桜並木を楽しめます。
MAP D-2

街角を彩る アート

平成28年3月号▶

彫刻「太陽の地下鉄」

彫刻「幻想の鳥」

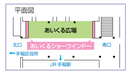
彫刻「思えばまるでつくる人」

手稲コミュニティセンター（作：本郷 新 氏）
前田森林公園（作：ビエール・セカリー氏）
JR手稲駅自由通路「あいくる」（作：舘松 幹白 各 氏）

JR手稲駅自由通路「あいくる」

ご利用方法については二次元コードから確認▶

情報交流・活動発表のためのスペース、手稲の玄関口として、パネル展や作品の展示など、年間を通してさまざまなイベントが開催されています。



星観緑地

星置川とキライチ川との合流点に架かるシンボルブリッジ「星流橋」から手稲山を正面に望むことができます。春には約520本のサクラ、夏には公園のシンボル花「タチアオイ」秋には「サケの遡上を見ることができます。

MAP A-5　JR「星置」駅下車、徒歩5分

手稲鉄北地区

金山地域まぢなの会

稲穂連合町内会納涼盆踊り大会

手稲地区

ふるさと経川ビルうえまつり

JR手稲駅自由通路あいくる

富丘西宮の沢地区

中の川桜づつみを歩こう会

不法投棄撲滅啓発パレード

新発寒地区

雪に親しむつどい

新発寒地区綱引き大会

手稲区ってどんなところ？

手稲区のシンボルマーク

手稲区の魅力スポットを紹介

手稲区ガイド

TEINE WARD GUIDE&MAP

手稲区役所 総務企画課広聴係
〒006-8612 札幌市手稲区前田1条11丁目
☎011-681-2432（直通）

手稲区役所 検索
www.city.sapporo.jp/teine/

手稲区マスコットキャラクター ていぬ
区制20周年を記念して平成21年に誕生。平和とよくもりの象徴として「手稲」の「て（手）」と「いぬ（犬）」を合わせて「ていぬ」と名付けられました。

手稲区公式X　ていぬの部屋

令和8年4月発行

発行 ●手稲区役所 総務企画課広聴係 ○地域振興係 ○保健センター ○保健福祉課 ○保健センター ○保健福祉課 ○保健センター ○保健福祉課